

Library information 図書館だより

○中央図書館 (LICはびきの内) 軽里 1-1-1 ☎072-950-5501
 ○陵南の森図書館 島泉 8-8-1 ☎072-952-2750
 ○羽曳が丘図書館 羽曳が丘西 2-5-1 ☎072-957-5553
 ○丹比図書館 樫山 251-1 ☎072-937-2355
 ○東部図書館 古市 1541-1 ☎072-950-2002
 ○古市図書館 ☎072-958-0050 (休) 10:00 ~ 17:30
 ○ブックステーションはびきのコロセラム ☎072-937-7210 (休) 13:30 ~ 16:30

●開館時間 10:00 ~ 18:00 (※中央図書館は 10:00 ~ 20:00)

☆ 読んでみませんか?

『もりのかばん屋さん』 学研

ふくざわ ゆみこ/作
ハリネズミのハリハリは森のかばん屋さん。お店にないものだって、上手に作ってしまいます。でもある日、糸を使ったかばんを作ろうとして、大変なことに…。



『みらいおにぎり』 文藝春秋

ひやま 絵山 タミ/著
「どうしたら料理人になれるの?」「幸せになるには?」93歳・現役の料理研究家と子どもたちとの交流から生まれた、食べる喜び、生きる喜びにあふれた一冊です。



『銀をつむぐ者 上・下』 静山社

ナオミ・ノヴィク/作
作那波 かおり/訳
金貸しの娘メリエムは、気弱な父のかわりに借金の取り立てをするうち、「銀を金に変える娘」と呼ばれるようになりますが…。東欧を舞台にした壮大なファンタジー。



おはなし会 (7月)			今月の特集テーマ	
中央図書館	4日(出) 12日(日) 18日(出) 26日(日)	13:30 ~	一般	海に関するエトセトラ
			児童	ちょっと怖い本
陵南の森図書館	5日(日) 12日(日) 26日(日)	11:00 ~	一般	笑える本
	18日(出)	15:00 ~		
	19日(日) ・11:00 (小さい子向き) ・11:30 (少し大きい子向き)		児童	キャラクターだいすき
東部図書館	8日(休)	10:30 ~		涼しそうな本
古市図書館	18日(出)	15:00 ~		書店特集①文学の中の本屋さん
丹比図書館	25日(出)	10:30 ~		海の本
羽曳が丘図書館	11日(出) 25日(出)	15:00 ~		虫の本

◇おはなしボランティア入門講座

日時 9月3日、17日、10月1日、15日、11月5日
の各木曜日 10:00 ~ 12:00

場所 中央図書館 定員 10人

講師 おはなしボランティアグループ「はびきの」の皆さん

申込 8月3日(月) 10:00から中央図書館にて受付(電話可)

◇ちびっこサロン

日時 7月8日(休) 10:30 ~ 場所 森のゆうびんきょく

今月の休館日は7月31日(金)
市内の図書館は全て休館となります。
※ブックステーションはびきのコロセラムは、羽曳野市長選挙の期日前投票所となるため、6月30日(火)から7月13日(月)までの期間は休館させていただきます。

サラダボール

これからの時代は、過去に経験したことのない速さで、人の価値観や地球環境等が大きく変化していくと予測されます。その時代を生き抜くためにも、価値観を共有し、同じ方向で未来を築いていける仲間が必要だと考えられます。

私がこれから何をすべきかと考えている時に、「命の授業」(腰塚勇人/著、ダイヤモンド社、2010年)という本と出会いました。

作者の腰塚勇人さんは元中学校の体育教師で、自身がスキー事故により首から下が全く動かなくなった出来事から復帰するまでの経験を基に、現在は「命の授業」というタイトルで講演活動をされています。そのなかで、

「口、耳、目、手足、心」の使い方を5つの誓いとして紹介されています。

1つ目の誓いは「口は人を励ます言葉や感謝の言葉を使うために使おう」
私達は一人では生きていけません。うまくいっている時はいいのですが、失敗や挫折を味わうこともあります。そんな時、家族や友人たちから励ましの言葉をもらえば、勇気づけられて、立ち直ることができるからです。

2つ目の誓いは「耳は人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう」
私自身もまだまだできていませんし、これが一番難しいと感じています。自分に関心のないことは、聞き流しやすく、時には聞いているのが苦痛な時さえありますから。

3つ目の誓いは「目は人のよいところを見るために使おう」
単に人の外見だけを見るのではなく、

相手の行動や考え方の良いところを見つけ出して理解してあげようということですね。

4つ目の誓いは「手足は人を助けるために使おう」
手足を動かす、困った人の手助けをするために行動しようという意味だと思います。身近なところでいえば、社会貢献、ボランティア活動ではないでしょうか。

5つ目、最後の誓いは「心は人の痛みがわかるために使おう」
心は相手と楽しみを共有し、時には痛みも共有することが大切です。人はつらい経験を積み重ね、それを克服するたびに、心が強くなっていきます。

これら腰塚さんの5つの誓いは、未来を生き抜くために私も一生誓い続けていくものだと思います。

はびきのしじんけんけいほつすすいしんきょうぎかい
羽曳野市人権啓発推進協議会